

平成26年3月遠野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
佐々木 議 員 (一括質問)	1 第二次進化まちづくり検証委員会の経過と協議内容について 市内各行政区の見直しについて 2 「遠野物語研究所」解散について 3 「教育委員会制度」の抜本的改革について 4 市内中学校教育環境整備について 5 部活・スポ少活動日について	市 長 市 長 教育長 教育長 教育長
佐々木大三郎議員 (一問一答)	1 国の農政改革に伴う当市の農業振興策について (1) 農政改革による当市の農家への影響は。 (2) 農政改革を遠野の農業にどのように活かそうとされているのか。 (3) 農地集積が困難な小規模農家（市街地近郊・兼業・中山間地域）への対応策は。 (4) 営農計画と財務諸表作成の支援体制は。 2 本庁舎の整備計画について (1) 本庁舎の設置場所について (2) 本庁舎新築に向けた今後のスケジュール計画は。	市 長 市 長
萩野 幸弘 議員 (一問一答)	1 若者の出会い創出について 本市は「子育てするなら遠野」をキャッチフレーズに様々な施策を講じているが、少子化は進む一方であるため、その前段階である若者の婚姻件数を増やす対策が必要ではないか。 2 産業別後継者育成の現状と今後の対策について 高齢化率が年々上昇しているが、農畜林業や商工業等における事業従事者の年齢も例外ではないと思われる。このことから各産業及び後継者の将来展望に一抹の不安を抱くものであるが、その現状と対策について伺いたい。	市 長 市 長
菊池由紀夫 議員 (一括質問)	1 新たな農業・農村政策の展開について (1) 農地中間管理機構の創設に伴う行政負担の増加にどのように対処していくか伺う。 (2) 経営所得安定対策の見直しと水田フル活用と米政策の見直しに伴う、産地の位置づけを高めるためのトップセールスの重要性が高まる。今後どのような対応を取られるか伺う。 (3) 日本型直接支払制度の創設に伴い、遠野市全体の地域ごとの活動計画策定により、地域格差を生じさせない取組の必要性から財源の確保を含め、今後どのような工程を組み立て、具現化していくか伺う。	市 長
菊池 邦夫 議員 (一問一答)	1 廃屋・空き家対策等の取組について (1) その後の情勢分析あるいは現状分析について (2) 空き家等の有効活用について 2 子育て支援の対応について (1) 「子ども・子育て支援新制度」での、公立保育所幼稚園の運営のあり方は。 (2) 「子育てするなら遠野市」だが、支援する環境整備での特筆されることは。 (3) 保育協会の職員管理体制は、正規職員が全体の約3分の1であるが。	市 長 市 長

<p>石橋 達八 議員 (一括質問)</p>	<p>1 地域防災力の充実強化について (1) 消防団の処遇改善を。 (2) 「ヘルプカード」の普及促進を。</p> <p>2 情報化時代の新たな取組について (1) オープンデータ推進の取組は必要ないか。 (2) 「クラウドファンディング」の導入は必要ないか。</p> <p>3 高齢化社会の課題について 代読、代筆支援体制をつくるべきでないか。</p> <p>4 学校教育について (1) スポーツ振興のための施策をどうするか。 (2) 「読書通帳」の導入は必要ないか。</p>	<p>市 長 市 長 市 長 教育長</p>
<p>小松 大成 議員 (一括質問)</p>	<p>1 市長の政治姿勢について 参議員選挙で圧勝した自民党、公明党による安倍政権は特定秘密保護法強行採決、以降国会ではこれまでの政府の憲法解釈を大きく変え、集団的自衛権の行使を可能とする解釈改憲を公然と表明するなど、海外で戦争のできる国へと変質させようとしている。戦前戦中を体験してきた市民の中からも安倍政権への懸念が高まってきている。自衛官が息子である親からは「このまま安倍政権が続けば戦場に我が子が派遣されかねない」などの不安の声も聞かれる。市長の見解を伺う。</p> <p>2 乳児・小中学生医療費給付事業の拡充について 市長は「子育てするなら遠野市で」をキャッチフレーズとしてさまざまな施策を展開していることは評価できる。しかし、かつては乳幼児への医療費助成制度が注目された遠野市ではあったが現在では、中学生までの医療費全額助成自治体が珍しく無くなった今日では更なる拡充が望まれる。</p> <p>3 商店街振興策について 遠野市は「快適住マイル応援事業」として個人住宅リフォームに対する助成事業を行っており、事業利用者から好評である。同様の事業を群馬県高崎市では個人経営の小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業などを営む業種へ導入しており、商店街振興策として全国から注目されている。検討の価値があるのではないか。</p>	<p>市 長 市 長 市 長</p>
<p>菊池 民彌 議員 (一括質問)</p>	<p>1 民生委員の活動について (1) 民生委員活動を助ける協力員の配置について (2) 民生相談員の報酬について</p> <p>2 「SL銀河」の定期運行について SL運行に伴う市の取組と経済効果について</p> <p>3 遠野農業の振興策について (1) 遠野農業の再生手段と方法について (2) 産地評価が高くブランド化が進むまちづくりについて (3) 六次産業化に取り組むまちづくりについて (4) 土壌分析について (5) 営農指導員体制の強化について</p>	<p>市 長 市 長 市 長</p>

<p>瀧本 孝一 議員 (一括質問)</p>	<p>1 市税等のコンビニ収納サービスの早期導入について 近年コンビニの普及と住民の利便性を考慮し、個人市民税や軽自動車税・国民健康保険料などをコンビニエンスストアで収納できるサービスを取り入れる自治体が急速に増えているが、本市での取組の検討や早期導入の考えは。</p> <p>2 中部広域地域の更なる連携強化について 岩手中部広域行政組合の構成市として一般廃棄物処理施設を建設している現在、先般隣の市の市長選挙で新しい首長が誕生した。これを機に様々な面において、より一層北上市や花巻市などの中部地域との連携強化を図る必要があると思われるが、その考えは。</p> <p>3 財産管理が難しい高齢者等の支援保護対策について 高齢化の伸展で社会的弱者といわれる障害者をはじめ、独居や高齢世帯者だけの世帯等に認知症などが進み、判断力が欠如したり低下して財産等の管理ができない市民への福祉支援保護対策や「成年後見制度」の活用実態の把握を含めた制度の周知は十分か。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
<p>菊池巳喜男 議員 (一問一答)</p>	<p>1 再生可能エネルギーの取組と現状について (1) あの3.11から早や3年、復興を目指す被災地では、地域のエネルギー資源を生かしたまちづくりを目指す取組が見られるが、本市としての取組はどのようにするのか。 (2) 地域のエネルギー資源、特にバイオマスエネルギーに注目をしたいが、どのように考えるか。 (3) 災害時のエネルギー対策としても、地域型エネルギーは有効性が高いと考えるがどうあるべきか。</p> <p>2 学力向上対策推進の取組について (1) 知育・徳育・体育のバランスのとれた人間形成を、目指す姿として進めているが、新年度に向けての取組は。 (2) 中学校再編から1年が経過する中、生徒の更なる学力向上をどのように持っていくのか。 (3) 学校別に策定される、教育課程や教科等の年間指導計画は児童・生徒・保護者・地域に徹底されているか。</p> <p>3 農業委員会と農地中間管理機構の役割について 農地中間管理機構は、岩手県農業公社が担うことになっているが、市町村も重要な役割を果たさなければならない。その中で、農業委員会は市町村の独立委員会として、農地に関する業務を行っているが、どのように把握しているのか。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>農業委員長</p>
<p>多田 勉 議員 (一括質問)</p>	<p>1 時代の変化を見据えた新まちづくりの仕組みは (1) 遠野市の現状と問題点に対応した地域活力の向上対策を。 (2) 平成26年度予算をスタートと考えた課題解決への取組は。</p> <p>2 市内高校受験志願者数の現状と課題への対応は 特徴ある学科の創設要望を。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p>